

Dream Tree 通信 ~2026年4月号~

「日常会話で使うと、英語は面白くなる」

慌ただしい新年度がようやく少し落ち着いた頃でしょうか？Dream Treeには、この4月からネイティブ講師が仲間に加わり、毎日の活動の中に「英語しか使えない時間」を設けています。

「Good morning!」「Do you like ●●?」「Thank you!」など、最初は短い言葉からスタート。ゲームをしながら英語を使ったり、好きなものについて話したり、時にはジェスチャーも交えながらコミュニケーションを楽しんでいます。英語というと、机に向かって単語を覚えたり文法問題を解いたりするイメージを持つ方も多いかもかもしれません。しかし、本来の英語は誰かとつながるための言葉です。Dream Treeでは、「間違えないこと」よりも「伝えてみようとする」ことを大切にしています。

英語しか使えない時間になると、最初は戸惑っていた子どもたちも、少しずつ耳が慣れてきます。「なんとなく言うことが分かった!」「この前習った言葉が通じた!」という小さな成功体験が、自信につながっているようです。活動内容もさまざまです。英語で工作をしたり、一緒にクッキングをしたり、カードゲームや外遊びをしたり。その中で自然と英語が飛び交います。勉強として取り組むのではなく、楽しい活動の中で英語に触れることで、「英語を学ぶ」から「英語を使う」へと感覚が変わっていきます。



中学生になってから英語が苦手になる子は少なくありません。特に、不登校を経験した子どもたちの中には、「分からなくなった」「授業についていけなくなった」という経験から英語に苦手意識を持つ子もいます。だからこそ、Dream Treeではまず「英語って面白い」「伝わるって嬉しい」という感覚を大切にしたいと考えています。

実際に保護者の方からは、「家でも英語の単語を口にするようになりました」「以前は英語を嫌がっていたのに、自分から話してくれるんです」といった嬉しいお声もいただいています。これからは、季節のイベントや調理活動、外出プログラムなどにも英語を取り入れながら、子どもたちが自然に異文化や言葉に触れられる機会を増やしていく予定です。

英語が得意な子も、初めて触れる子も関係ありません。大切なのは、「伝えてみたい」「話してみたい」という気持ちです。Dream Treeならではの英語の時間が、子どもたちにとって新しい世界への扉になればと思っています。

「新年度の不安、どう解消すればよい？」

新年度を迎えるこの時期、「新しい担任の先生とうまくやれるかな」「友達はあるかな」と、不安を感じる子どもは少なくありません。

特に人との関わりを大切に子どもたちにとって、先生との相性や友達との関係は大きな関心事です。しかし、始まる前に抱いていた不安が、そのまま現実になるとは限りません。「怖そうだと思っていた先生が優しかった」「意外な友達が出てきた」など、新しい環境だからこそその良い出会いもあります。

もちろん、時には思い通りにいかないこともあります。そんな時に大切なのは、「気にしなくていいよ」と不安を打ち消すことではなく、「心配なんだね」「そう感じたんだね」と気持ちを受け止めることです。

不安をなくすことは難しくても、誰かに話すことで気持ちが軽くなることがあります。新年度は期待と不安が入り混じる季節。子どもたちが安心して一歩を踏み出せるよう、大人がそっと寄り添いながら見守っていききたいですね。

「ネイティブ講師が仲間に加わりました。」

(以下、本人のコメントを和訳)

はじめまして。マイケルです。これまで英会話スクールで英会話講師として働いてきました。英語を教える中で、一人ひとりの子どもたちの内面的なことに深く関わり、一人ひとりを応援したいという思いが強くなり、このたび Dream Tree の仲間に加わりました。

英語はもちろんですが、それだけでなく、子どもたちが「今日も来てよかった」「また行きたい」と思えるような時間を一緒につくっていきたくて考えています。これから英語を使ったゲームや工作、クッキングなど、楽しみながら参加できるさまざまなプログラムを企画していく予定です。英語が得意な子ども、初めて触れる子どもも大歓迎です。



子どもたちとたくさんの思い出を作れることを楽しみにしています。どうぞよろしくお祈いします！
(スタッフ Michael)